

マトリックス

マトリックスは、仕組みが単純であるため、汎用性の高い思考ツールであり、使い勝手が良い。

目的や用途によって、様々な場面で用いることができる。思考ツールとしてのマトリックスは、複雑な事象（資料）をマトリックスを使って分類して整理することと、整理されたセル同士の関係を見付け出してそれを表すために用いられる。マトリックスとは、簡単に言うと「行列」のことである。行という縦軸と列という横軸をもつ表のことを指す。

表に整理することで、共通点や相違点を明らかにし、次の活動について考えたり、新たな課題を見出したりすることができる。

マトリックス

【使い方】

- ①「行見出し」に整理する観点（分類のカテゴリー）を書き入れる。
- ②「列見出し」を作る場合は、整理する観点（カテゴリー）を書き入れる。
- ③それぞれのセルに該当する事項（名前や名称等）を記入させる。
- ④セルとセルを見比べて、書き込まれた事項の抜けや重なりなどに着目したり、数や種類について着目したりしながら、その理由やそれによる結果などについて意見をまとめる。

マトリックス 例 小学5年社会「これからの食料生産」

	農産物	海産物
青森県	りんご、さくらんぼ、ニンニク、長いも	毛ガニ、ホタテ、シジミ、マダラ
山口県	夏みかん	ふぐ、アンコウ、ワタリガニ、マグロ